

平成27年度施策評価シート(平成26年度実施事業)

作成主管課	企画政策課
	関係課
施策名	広域行政
施策コード	6-3-4

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	第6章 人と地域、絆を大切にしたい元気なまちづくり〔自治・協働〕
	小政策	3 自治を育み、創造的な行財政運営を推進します
現況と課題	社会経済情勢の変化や市町村合併の進展等の中で、地方圏において安心して暮らせる地域を各地に形成するという趣旨による定住自立圏構想が推進されるなど、地域の振興整備を目的とした従来の一律的な広域行政圏での施策から、地域の実情に応じた自主的な協議による取り組みとしての広域連携の推進に転換がされています。また、東日本大震災においては、各地の地方公共団体が被災地支援を実施している現状が示すとおり、地方公共団体は地域間競争の関係ではなく、地域間連携の関係にあることが、改めて認識されました。本市では、合併に伴う一部事務組合の見直しや広域市町村圏協議会の解散など、必要性や効果検証による見直しを行う一方で、公共施設の利用といった市民サービスの向上、観光面や政策研究といった観点における広域連携を進めてきました。今後は、多様化する市民ニーズへの対応、地域の活性化や業務の効率化といった視点を持ちながら、自主性、自立性の高い行政運営の実現に資する広域行政を検討、推進していく必要があります。	
施策目標	市民サービスの向上、地域の活性化及び業務の効率化につながる広域連携を推進するとともに、隣接市町村からより広範囲における相互支援や連携策の充実、検討を進めます。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	人口減少している。このまま減少が続くようなら他市との合併を考えた方が良かったらう。
-------------	---

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
他の市町村と広域事業や広域連携・交流が行われていると感じている市民の割合	市民実感度	39.410	29.340	29.520	29.220		
	加重平均値	2.346	2.223	2.202	2.200		
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		78.970	81.930	76.850		
	加重平均値		3.216	3.191	3.185		

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
広域市町村の構成自治体の公共施設相互利用率	目標値	%		9.0	9.5	10.0	10.5	11.0
	実績値	%	8.1	9.9	11.2	10.8		
	達成度	%		110.00	117.89	108.00		
ベンチマーク								
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
ベンチマーク								
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
ベンチマーク								
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
ベンチマーク								

数値指標の考え方	指標設定の考え方	県央地域の公の施設の利用実態調査による、笠間市の施設における、住民以外の利用者数/施設利用者数。
	目標値設定の考え方	利用促進の取り組みにより微増とした。

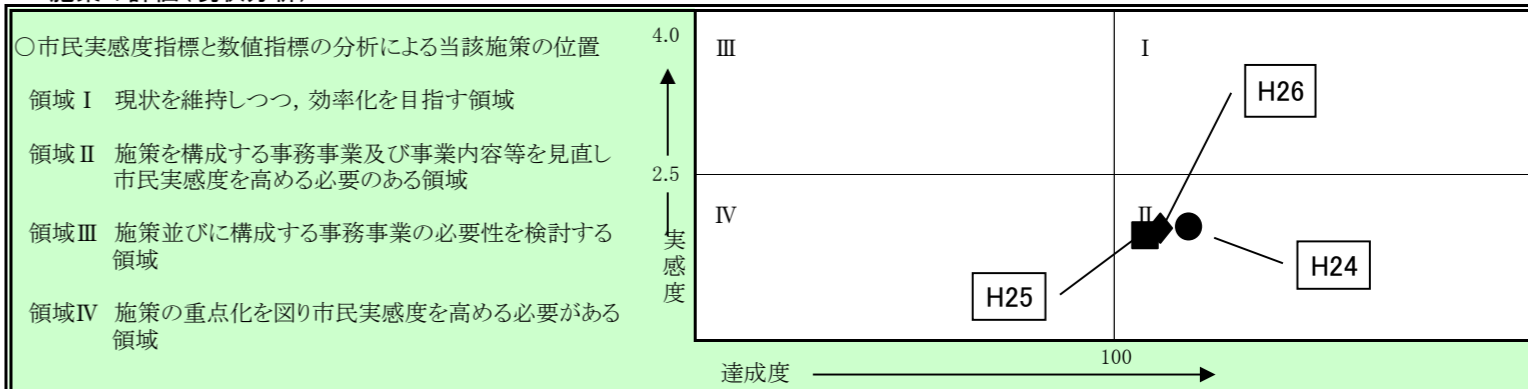
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。公共施設等の相互利用や広域行政サービス事業の享受、広域交通網を利用した観光事業への参加をとし、行政に対する自主性・自立性を高める。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。地域の活性化、認知度向上、イメージアップ及び業務の効率化につながるように、広域的な課題に対する要望事項の調整や広域計画の策定及び推進などを図り、近隣市町村との相互支援や連携の充実・検討を進める。

3 平成26年度の取組状況

取組状況等	取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国や企業等への広域圏による要望活動</li> <li>・地域のPR及び今後の地域振興策の参考となる調査を目的とした各種イベントの実施及び参加</li> <li>・各協議会における連携</li> <li>・県央地域首長懇話会において検討してきた定住自立圏構想について、水戸市が中心市となり、協定を締結する方向となった</li> </ul>
-------	---

4 施策の評価(現状分析)



指標を分析した結果施策目標は達成されたのか

達成度評価	①調査中 ②領域 II に該当し、実感度は低い結果となった。 ③目標値の考え方については適当であるといえるが、相互利用が伸びているので、数値については見直しが必要。
-------	--

施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か

構成事務事業の適正性	多様化・高度化する住民ニーズに対応するため、地域の実情や特性を生かしたに行政サービスを展開する上で、また行政サービスの効率化を図る上でも、広域的な地域が連携を進める必要がある。
------------	--

平成27年度以降に残る課題、その要因として考えられること。

残された課題	・定住自立圏構想について平成27年度中の協定締結を目指し、取り組むことに決定された。市民の生活圏や事業の有効性を踏まえ、取り組む内容を検討する。
--------	--

5 今後の方向性

平成28年度に向けた施策方針	
取組方針	・笠間市の将来を見据え、少子高齢社会の対応、地域の活性化や地域が抱える課題への対など広域的に取り組むことでより効果が現れる具体策を検討し推進していく。 ・業務の効率化・合理化を進めるため、一部事務組合の見直し等について、機を見て進める。

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			貢献度評価		
			成果指標	単位	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成24年度		平成25年度	平成26年度
1 広域行政事務	地域の活性化, 認知度向上, イメージアップ及び業務の効率化につながるように広域的な課題に対する要望事項の調整や広域計画の策定及び推進などを図り, 近隣市町村との相互支援や連携の充実・検討を進める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いばらき北関沿線地域活性化協議会</li> <li>・水戸地方拠点都市地域整備推進協議会</li> <li>・県央地域首長懇話会</li> <li>・茨城空港利用促進協議会</li> <li>・霞ヶ浦導水事業建設促進協議会</li> <li>・県北水資源開発促進協議会</li> </ul>	政策的事業	公共施設相互利用者数	人	364,000	364,500	371,000	市単	692	685	630	5
			広域事業・連携が行われていると感じている市民の割合	%	29	30	29					
			いばらき北関.com訪問者	回	137,097	123,139	—					
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
事業費合計									692	685	630	

# シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 広域行政

施策目標に対応して	1		2	広域行政事務	4	
	3		5		7	
	6		8		9	

施策目標に対する事務事業の意図

ある 施策目標に間接的である

← 施策の対象と一致している      施策の対象と概ね一致している      施策の対象と間接的(少数)である →

施策の対象と事務事業の対象

法定受託事務(義務的事業に分類)

事務事業の成果基準の説明

# シート2施策構成事務事業貢献度評価

施策名 広域行政

施策の目的に対する事務事業の目的の直結度

- 非常に高い 1
- 高い 2 3
- 中 4 5 6
- 低い 7 8 9

1	2	4
3	5 広域行政事務	7
6	8	10
9	11	12

成果は高い (上位)

成果はやや高い (中位)

成果は普通 (中位)

成果は低い、ほとんど出ていない若しくは把握できない(下位)

事務事業の成果

事務事業の休廃止検討エリア

法定受託事務(義務的の事業に分類)
事務事業の成果基準の説明